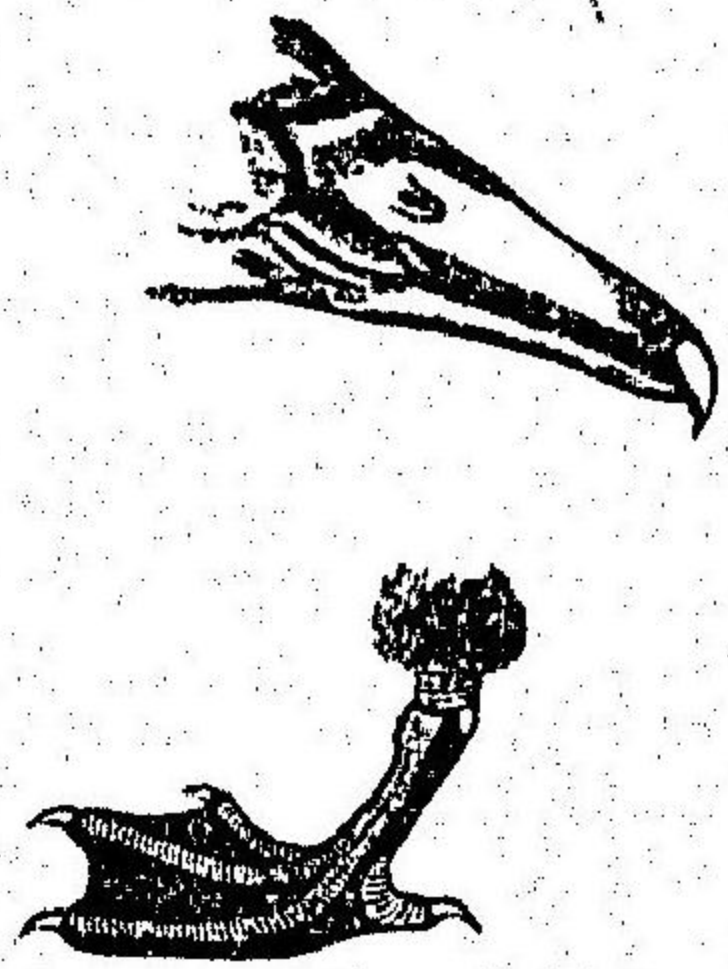


圖十九第



水鳥ノ頭及足

鳧 (Anas boschas, L.) 鶩 (其變種ナリ) 鵞 (Aix gale-riculata, L.) 鴈 (Anser albifrons, Gm.) 鴨 (Podiceps Phillipensis, Bonn.) 信天翁 (Dinomedea) 鴈 (Larus) 等ノ水鳥之ニ屬ス

第二目、涉禽類 (Grallatores) 脚長クシテ上部ノミ羽

毛ヲ有ス趾ハ長クシテ蹠ヲ張ラス嘴モ長シ水邊ニ棲息シテ小キ魚鳥ヲ以テ食トナス

丹頂鶴 (Garus leucauchen, Tem.) 田雞 (Gallinula) 秧雞 (Rallus indicus) 青莊 (Ardea cinerea, L.) 鷺 (Herodias garzetta, L.) 水鳥之ニ屬ス (Gallinago) 等之ニ屬ス

第三目、走禽類 (Cursores) 翼ハ至テ小サク飛翔ノ能ヲ欠キ胸骨ノ發育不完全ニシテ隆起ヲ有セス脚強大ニシテ前ニ二趾或ハ三趾ヲ有シ後趾ハ

通常欠如ス

駝鳥 (Struthio camelus, L.) 鸚 (Dromaeus) Kiwi (Apteryx) 等之ニ屬ス駝鳥及ヒ多ミラハ共ニ長ケ六七尺ニ達シテ走ルヲ迅速ナリ前者ハ亞弗利加ニ産シ後者ハ濠州ニ産ス又タミラハにうヒーらんどニ棲息シ大サ家鶏位ニシテ往々小ナル後趾ヲ有ス

第四目、鷄類 (Rasores s. Gallinaei.) 脚短シト雖モ強大ナリ四趾共ニ在リテ雄ハ距ヲ有シ羽彩雌ヨリモ美麗ナリ鼻孔ハ嘴ノ根部ニ裂狀ニ開キテ軟骨質ノ鱗ヲ以テ蓋ハル翼大ナリト雖モ胸骨隆起ノ發育少クシテ飛能完全ナラス凡テ地上ニ棲息シ一雄多雌ナリ

家雞 (Gallus domesticus, Briss.) 雉 (Phasianus versicolor, Vieill.) 七面鳥 (Meleagris gallopavo, L.) 松雞 (Lagopus) 鸚 (Phasianus Soemmeringii, Tem.) 鷓 (Coturnix japonica, Schleg.) 孔雀 (Pavo cristatus, L.) 等此ニ屬ス

類種ノ物動

第五目、鳩類 (Columbinae) 飛能甚々強ク從テ翼及胸骨隆ノ發育能ク脚ハ甚々短小ニシテ赤色ナルヲ常トス四趾ヲ有ス嘴モ亦短小ニシテ其大部ハ軟膜ヲ被リ末端ニ少シク角質ヲナス鼻孔ハ軟骨質ノ鱗片ヲ以テ蓋ハル凡テ樹上ニ棲息シ田畑ニ下リテ穀類ヲ食トス

鳩 (Turtur gelastis, T.) 鳩 (Columba domestica, Gmd.) 斑鳩 (Turtur torquatus, Bogd.) 青鳩 (Treron Sieboldii, T.) 等此ニ屬ス

第六目、猛禽類 (Raptiores) 鋭ク且ツ強大ナル釣狀ノ嘴ヲ有シ四趾長クシテ鋭キ鈎爪ヲ以テ終ル翼強大ニシテ飛能ヲ逞フシ視神極メテ敏ニシテ奪掠ヲ事トシ鮮肉ヲ食トシ其性猛獾ナリ夜禽多シ



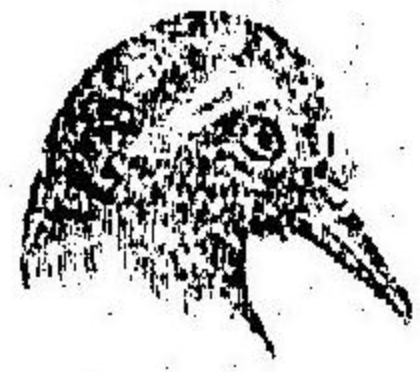
第十九圖 鷹 (Aquila orientales, Tem.) 蒼鷹 (Astur Palumbarius, L.) 隼 (Falco peregrinus, Tunst.) 鵟 (Milvus melanotis, T. & S.) 卷鷹 (Haliaeetus pelagicus, Pall.) 鵂 (Syrnium)

角鷹 (Aquila orientales, Tem.) 蒼鷹 (Astur Palumbarius, L.) 隼 (Falco peregrinus, Tunst.) 鵟 (Milvus melanotis, T. & S.) 卷鷹 (Haliaeetus pelagicus, Pall.) 鵂 (Syrnium)

ニ屬ス
第七目、燕雀類 (Passeres) 嘴短小ニシテ角質ナリ脚ハ四趾ヲ有シ細クシテ短々極メテ多數ノ小禽ヲ含ム通常小禽ト稱スルモノハ盡ク此ニ屬ス善ク唧鳴スルモノ多シ

鳥 (Corvus) 鴉 (Pica) ハ大形ナルモノニシテ左ニ舉クル例ハ小形ノモノナリ
伯勞 (Lanius bucephalus, Pall) 白頭鳥 (Hypsipetes Amurotis, T.) 鶯 (Cettia sp?) 椋鳥 (Sturnus cirraccus, T.) 雀 (Passer Montanus, L.) 繡眼 (Zosterops sp?) 交喙 (Loxia sp?) 燕 (Hirundo rustica, scop.) 等はナリ

第十九圖



第八目、攀木類 (Scansores) 嘴強直ニシテ根部ニ剛毛アリ尾翹モ亦強硬ニシテ二趾前ニ向ヒ二趾後ニ向フ林中ニ棲息シテ攀能極メテ逞シ其嘴ヲ以テ樹皮ヲ敲キ其間ニ棲

メル山林ノ害虫ヲ食トスルモノ多シ

啄木鳥(Picus major, L.) 杜鵑(Cuculus tamsnicens) 郭公(Cuculus sp?) 魚狗(Atcedo

Bengalensis, Gm.)等此ニ屬ス

化石ニ發見スル鳥類ニあるをふてりくす(Archiopteryx)ト稱スルモノアリ齒ヲ有シ尾椎甚タ長ク尾翹ハ其左右ニ生セリ且ツ前肢ニ鉤爪ヲ有スル等大ニ爬虫類ニ近シ

第六綱 哺乳類 Mammalia

哺乳類ハ脊索動物中ノ最高級ヲ爲シ体制最モ完成セリ其特徴トスル所ハ大凡ソ左ノ二點アリ

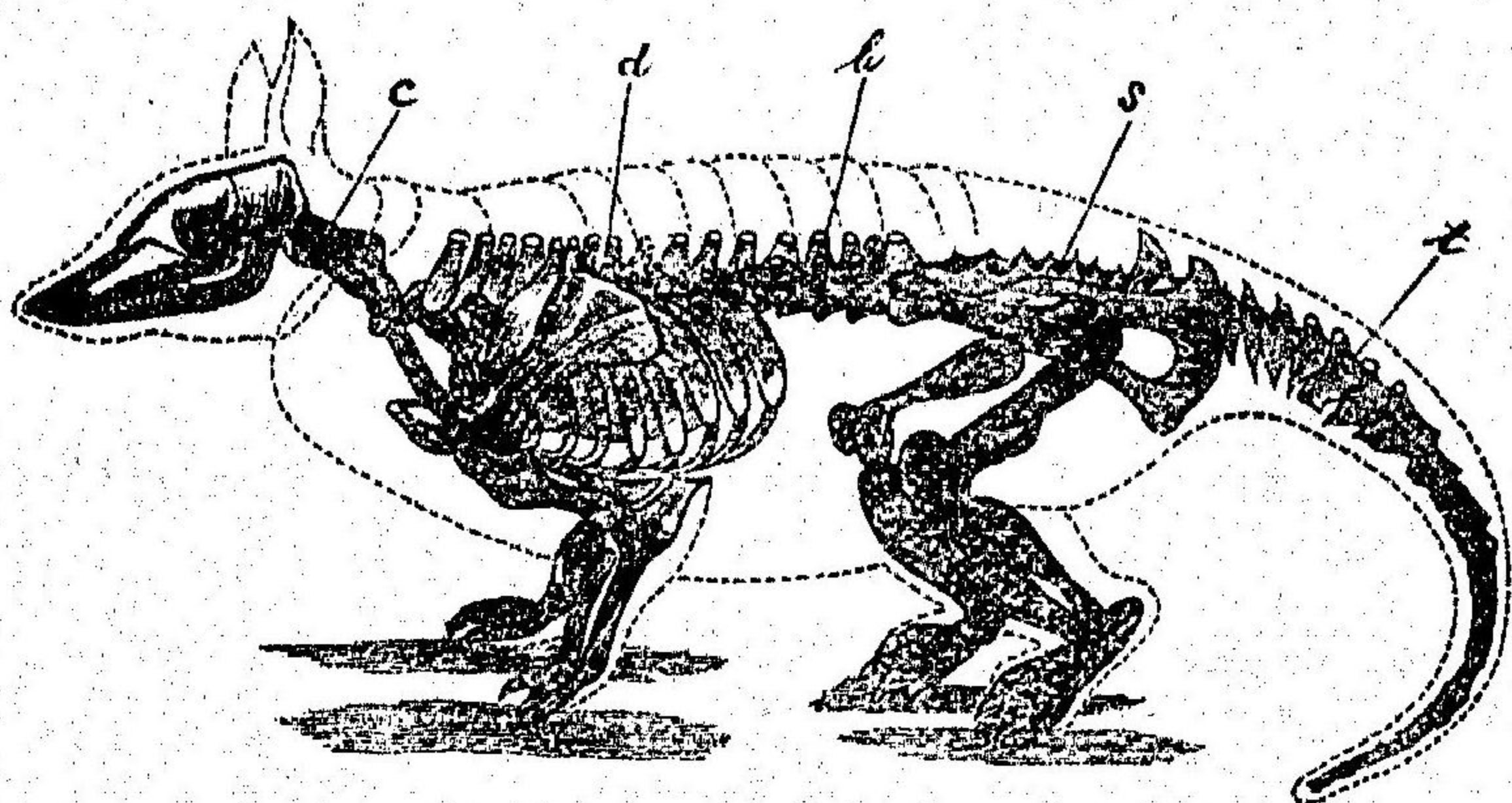
第一、終生ノ間少クモ一定時ノ間ハ皮膚面ニ毛ヲ被ルヲ第二、幼時ハ暫時母体ノ有セル乳腺ト名クル特別ナル腺ノ分泌物ナル乳液ニ依リテ

養ハル、ト是ナリ今其構造ノ大綱ヲ説明スヘシ

骨格ハ幼時ニ於テハ他ノ脊椎動物ト等シク脊索ヲ以テ代表セラレレト老成スレハ全ク消失シ化骨完全ニシテ至テ堅密ナリ腦蓋ヲ爲セル諸骨、上顎骨、鼻骨、眼窩、耳壁ヲ構成スル諸骨ハ鋸齒狀ノ縫合線ヲ爲シテ相結托シ合シテ大ナル一群ヲ爲ス兩側ノ下顎骨ハ中央ニ縫線ヲ示シ舌骨ト結ンテ一群ヲナシ以テ彼ノ一群ト關節ス脊梁ト關節スル後頭顚ハ二個アリ

脊梁ハ頸、胸、腰、薦、尾ノ五部ニ分レ椎骨ノ形狀ハ部分ニヨリテ等シカラス(第一)頸椎ハ七個ニシテ第一椎ハ載域ト稱シテ後頭顚ト關節シ第二椎ハ樞軸ト名ケテ之ヲ支持ス俯仰偏傾ノ運動ハ載域ニヨリテ成リ水平廻旋ノ運動ハ樞軸ニヨリテ行ハル(第二)胸椎ハ概テ十三アリ(十或ハ十二ノ一アリ)盡ク肋骨ヲ擔フ肋骨ノ前端ハ軟骨ノ媒介ニヨリテ胸骨

第三十九圖

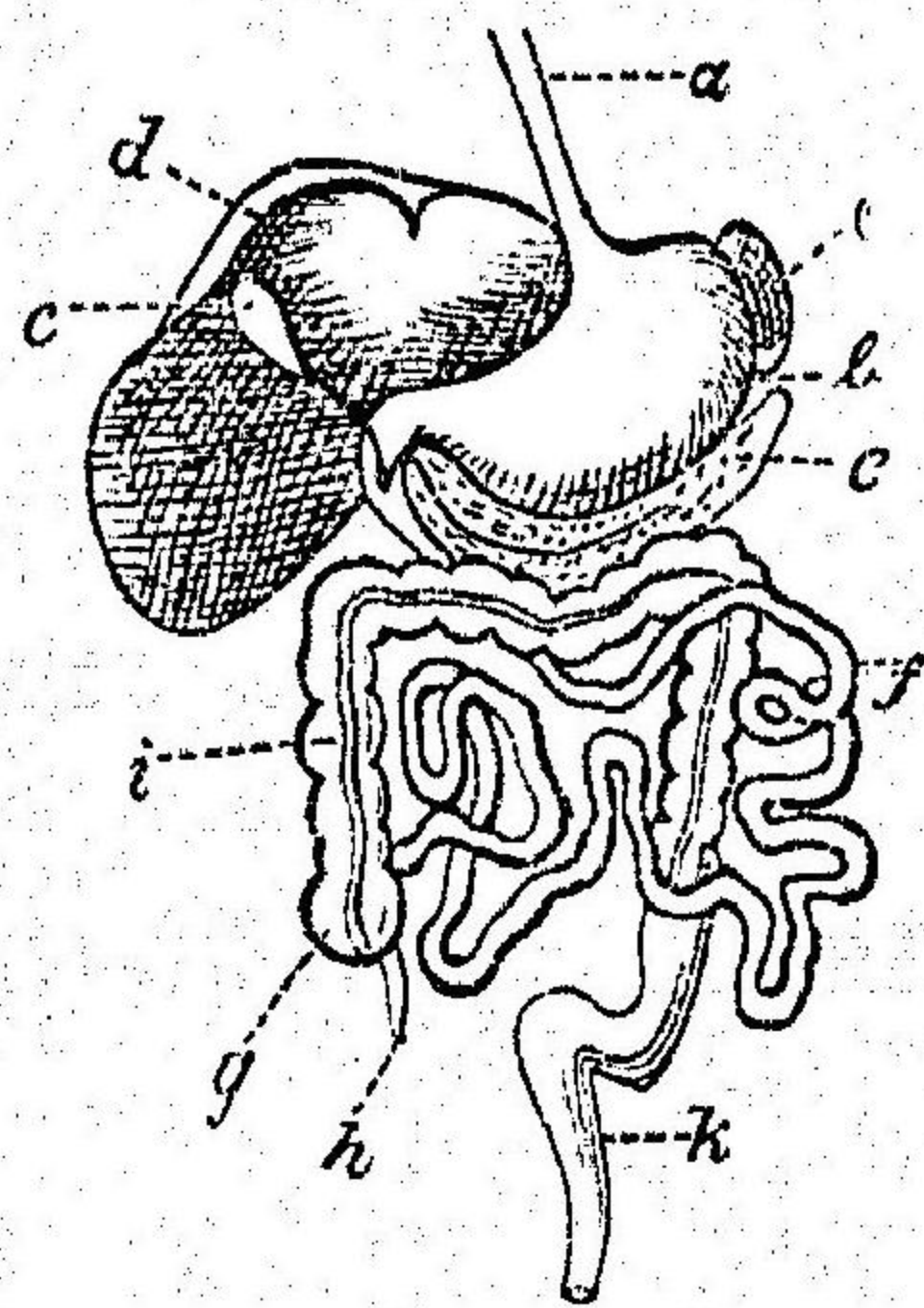


哺乳動物ノ骨
 d. 胸 頭 脾 尾
 c. 尾
 b. 尾
 s. 尾
 t. 尾

ト稱スル劍狀ノ骨ニ連接ス(第三三腰
 椎ハ七個六ヶノ一アリ)アリ付屬ス
 ル骨ナク強大ナリ(第四薦椎ハ數多
 融合シテ薦骨ヲ爲シ腰帶之ニ付屬
 ス(第五尾椎ハ數多ヨリ成リ其尖末
 ニ近クニ從テ其大サヲ漸減ス
 四肢ハ前肢一對後肢一對アリ(第八
 十七圖及第九十三圖ヲ參觀スヘシ)
 鳥類ト等シク肩帶ハ元來三骨ヨリ
 成リ肩胛骨ハ能ク發育シテ板狀ヲ
 ナシ肋骨ノ外面ニ付着ス鳥喙骨ハ
 肩胛骨ト融合シテ只一突起ヲナス

ノミ鎖骨ハ僅ニ發育セリ然レモ鳥類ノ如ク互ニ結着セス(往々欠如ス
 ル類アリ)腰帶ハ肩帶ト等シク腸骨、耻骨坐骨ノ三骨ヨリ成リ互ニ接着
 シテ骨盤ト稱スル大ナル環狀ノ骨ヲナス但シ後肢ヲ有セサルモノニ
 アリテハ僅ニ痕跡ヲ留ムルニ過キササルナリ
 外肢ノ構造ハ大ニ鳥類ト一致ス即チ前肢ニ在リテハ上膊骨後肢ノ大
 腿骨之ト關節セル橈骨及ヒ尺骨(後肢ノ脛骨腓骨)アリ手骨ハ橈骨ニ依
 リテ支ヘラレ尺骨ハ欠如スルコトアリ手骨ハ通常ノ腕骨及ヒ掌骨(後
 肢ノ跗骨蹠骨)ヨリ成リ五列ノ指骨(後肢ノ趾骨)之ニ連ル其發育及數ハ
 類ニ從テ異ナルモノアリ
 体腔ハ常ニ横隔膜ト稱スル完全ナル筋肉組織ノ隔壁ニヨリテ二部ニ
 分ル是レ哺乳類ニ始メテ見ル所ナリ其上部ヲ胸腔ト云ヒ心臟肺臟等
 ヲ藏シ下部ヲ腹腔ト稱シ消化管ノ大部ト脾、腎等ノ諸臟ヲ藏ム

第四十九圖



a. 胃 胃腸道
 b. 肝 肝臟
 c. 膽 膽囊
 d. 小腸 小腸
 e. 盲腸 盲腸
 f. 大腸 大腸
 g. 直腸 直腸
 h. 肛門 肛門
 i. 唾液腺 唾液腺
 k. 口腔 口腔

人類ノ消化管系

消食器ハ口ニ始マリ肛門ニ終ル口ノ外圍ヲ爲セルモノハ唇ニシテ上下ノ顎縁ニハ齒ヲ生スルヲ常トス齒ハ齒根ニヨリテ顎縁ノ齒槽中ニ錯挿セラレ幼兒ノ有セル齒ハ之ヲ乳齒ト稱ス早晚脱落シ成齒ト稱スル

一坐ノ齒列之ニ代ル齒ハ其位置其形狀其作用ニヨリテ之ヲ四種ニ區別シ得ヘシ門齒犬齒小白齒大白齒是ナリ獨大白齒ハ脱落スルヲナシ門齒ハ常ニ口ノ前面ヲ擁シ食物咀嚼ニ用アリ犬齒ハ其兩側ニ在リテ通常光鋭ナリ主ニ攻撃防禦ノ用ヲ爲ス植物ヲ以テ食トナスモノニハ之ヲ欠如ス其兩側ニ隣レルモノハ大小ノ白齒ニシテ上面平カナレトモ

凸凹ヲナシ食餌ヲ摩碎スルニ用アリ植物ヲ以テ食トスル動物ニハ大ニ發育セリ齒ノ發育ハ動物ノ類ニヨリ其生活常習及發達ニ從ヒ大ニ異ナルモノナリ故ニ之ヲ以テ一ノ特徴ト爲スコトヲ得ベシ通常公式ヲ以テ之ヲ示ス齒式ト云フ例ヘハ猿ニ在リテハ

門 $\frac{3.3}{3.3}$ 犬 $\frac{1.1}{1.1}$ 大 $\frac{4.4}{4.4}$ 小 $\frac{3.3}{3.3}$

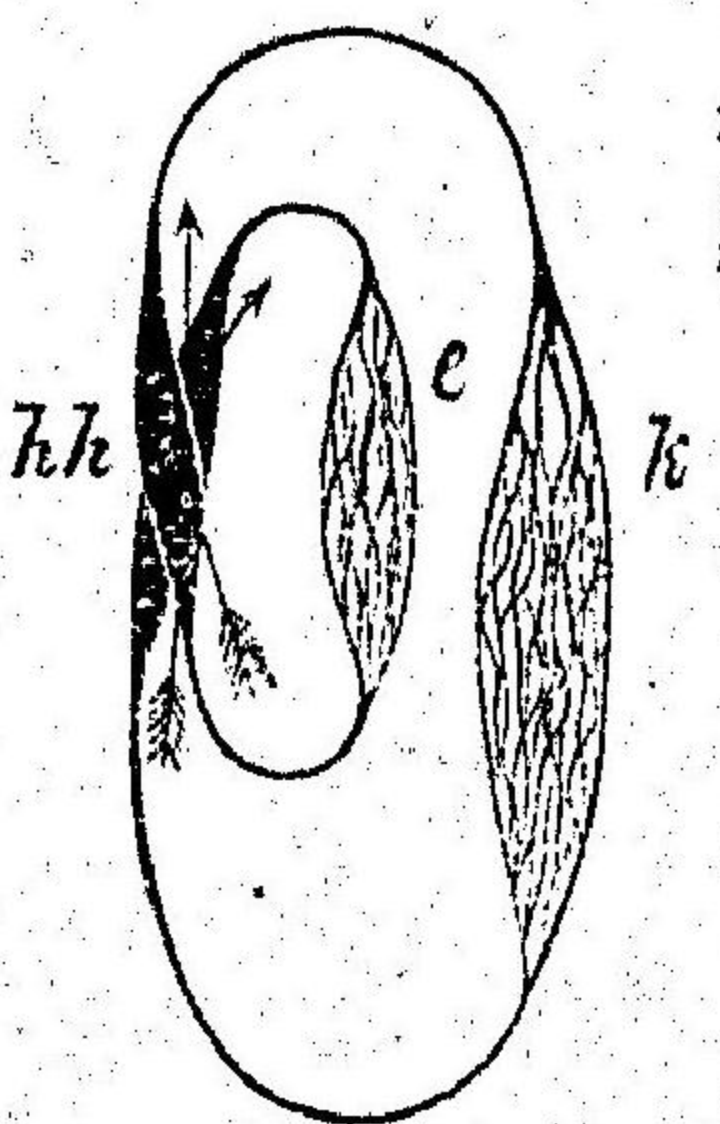
又タ牛ニアリテハ上顎ニ門齒并ヒニ犬齒ヲ有セサルカ故ニ

門 $\frac{0.0}{3.3}$ 犬 $\frac{0.0}{1.1}$ 大 $\frac{3.3}{3.3}$ 小 $\frac{3.3}{3.3}$

ナリトス即チ分子形ノ文字ハ上顎ノ齒ヲ表シ分母形ノ文字ハ下顎ノ齒ヲ表ス其左右ノ數ハ點ヲ以テ之ヲ別テリ

口腔内ニ開口スル付屬器ニハ唾腺アリ唾液ヲ分泌ス又肉質ノ舌アリ

第五十九圖



哺乳動物血行模型ノ圖hh心臟、肺
k毛細管

テ消化上機械的ノ作用ヲ助ク口ハ食道ニヨリテ胃ニ連續シ胃ハ大ナル袋ヲナシ其内面ニ胃液腺ヲ有ス胃ノ後端ハ十二指腸ト稱スル部分ヲ經テ小腸ニ連ル胃ト小腸トノ界(十二指腸)ニハ大ナル二個ノ付屬腺ノ開口アリ肝臟ノ膽管及ヒ脾臟ノ導管是ナリ小腸ハ通常細クシテ甚ク長シ大腸ニ移リテ其巾俄ニ増大ス大腸ノ初端ニハ鳥類ニ等シク付屬ノ盲囊アリ之ヲ虫様垂ト云フ之ヨリ直腸ノ界ニ至ルマテ其壁緊緻ヲナス故ニ結腸ト云フ短キ直腸ヲ經テ肛門ニヨリ外口ス排泄腔ハ欠如スルカ故ニ排泄管ト生殖輸管トハ特別ノ門ヲ以テ肛門ノ前ニ開クヲ常トス是レ鳥類ニ見サル所ナリ
心臟ハ鳥ト等シク四室ヨリ成ル故ニ血液循環モ其要點ニ至リテハ之ト異ナル所ナ

シ血液ハ温暖ニシテ赤血球ハ核ヲ有セス駱駝ノ類ヲ除クノ外ハ凡テ正圓形ヲナス
呼吸器ハ左右ノ肺ニヨリテ成リ殆ント全胸腔ヲ占有ス肺ハ海綿様ニ組織セラレ氣管ノ枝ニヨリテ支ヘラル氣管ノ上部ハ少シク膨大シテ喉頭ヲナシ内ニ發音裝置ヲ藏ス
神經系統ハ大凡ソ鳥類ニ等シト雖モ大脳ノ比較的ニ大ナルト及其兩球ヲ連係スル胼胝体ト小腦兩半球ヲ連合スルばろり橋ノ存在ハ下等ノ脊椎動物ニ其類例ヲ見サル所ナリ
五官ハ一般ニ發育ノ高度ヲ極メタリ眼ハ瞬膜ノ發育多ク不完全ナリト雖モ眼瞼ハ常ニ能ク發達ス耳モ構成完全ニシテ凡テ外耳ヲ具ヘタリ
腎臟ハ一對アリテ腹腔ノ腰部ニ在リ尿ハ一旦輸管ニヨリテ膀胱ニ出

ヲ後排出サル、モノナリ生殖器モ亦腹腔ノ下部ニ在リテ特別ノ輸管ヲ以テ外口ス

皮膚ハ鳥類ノ羽毛爬虫類ノ鱗ニ於ケルカ如ク上皮ノ變物ナル毛ヲ以テ覆フヲ常トス又タ毛ヲ有セサルモノハ鱗ニ類スル甲ヲ有ス甲ヲモ毛ヲモ有セサルモノト雖也幼時ハ必ス多少ノ毛ヲ有スルモノナリ

哺乳類ハ殆ント凡テ胎生ニシテ羊膜ヲ被リ尿膜ヲ具フ又タ其胎内生活ヲ爲ス間ハ一定ノ氣官ニヨリ母体ヨリ養分ヲ受クル者多シ此器官ヲ胎盤ト云フ已ニ母体ヲ辭シタル後モ一定時間ハ母体ノ有スル乳腺ノ分泌物ナル乳汁ヲ以テ養ハル乳腺ハ胸部或ハ腹部ニ在ル乳ト名クル疣狀突起ニ開口ス此乳疣ハ對生ニシテ其數ハ種類ニヨリ等シカラス胎盤ノ存否ニヨリテ哺乳類ハ無胎盤哺乳類及有胎盤哺乳類ニ分レ更ニ二十四目ニ分ル

第九十六圖



左ニ二三ノ例ヲ舉ク

かものはし(Ornithorhynchus paradoxus)ハ小ナル水獺ニ似テ趾間ニ蹼ヲ張

△. 無胎盤哺乳動物 Aplacentalia. 胎盤ヲ有セス袋骨ヲ有ス

第一目 一穴類 (Monotremata) ハ最下等ノ哺乳類ニシテ口ニ肉様ノ唇ナク鳥嘴ノ形狀ヲ爲シ又タ齒ヲ有セス角質板ヲ以テ之ニ代フ肩帶ニ於

かものはし

テ鳥喙骨發育シ排泄腔アリテ尿及生殖器ノ輸管ハ腸ノ末端ト共ニ此ニ開ク目ハ小ニシテ瞬膜アリ耳ニハ外耳ナシ卵生ナリ故ニ此等ノ點ニアリテハ大ニ鳥類ニ近シ又タ腰帶ニハ有袋類ニ能ク發育セル袋骨ニ類スル特別ナル骨ヲ有ス虫類ヲ食トナス乳腺ヲ有スレモ乳房ナシ此點ニ於テハ大ニ有袋類ニ近シ共ニ濠洲及其四近ノ島ニ産ス

リ水邊ニ穴居シ能ク游泳ス牡ハ後趾ニ距^{ケツメ}ヲ有スト云フ水住ノ昆虫及軟体類ヲ食トナス○はりもぐら(Echidna hystrix & E. Setosus)ハ体面ニ刺狀ノ毛ヲ密生シ其形はりねずみに似タリ嘴長クシテ稍尖レリ森林中ニ棲息シ又地中ヲ潛行シ蟻等ヲ以テ食トナス又々腹部ニ皮囊ヲ有シ其中ニ於テ卵ヲ孵化ス

第二目、有袋類(Marsupialia)ハ一方ニ在リテハ大ニ一穴類ニ近似スト雖其頭骨ノ構成眞正ノ齒ヲ有スルコト肩帶骨ノ形狀發生ハ微物ナレ其胛胛体アリテ大腦ノ兩半球ヲ連合スルコト等ハ大ニ高等哺乳類ニ似タル所アリ皆袋骨ヲ具ヘテ腹部ニ育袋ヲ有シ乳疣ハ其中ニ開ク胎生ナリト雖其胎盤ヲ有セサルカ故ニ早ク母体ヲ出テ育袋中ニ在リテ哺乳シテ生長ス兒稍ニ生長シタル後ト雖モ危險ニ遭遇スルトキハ忽チ袋中ニ入ルモノナリ生活常習甚タ種々ニシテ肉食類ノ如ク掠集肉食ヲ事ト

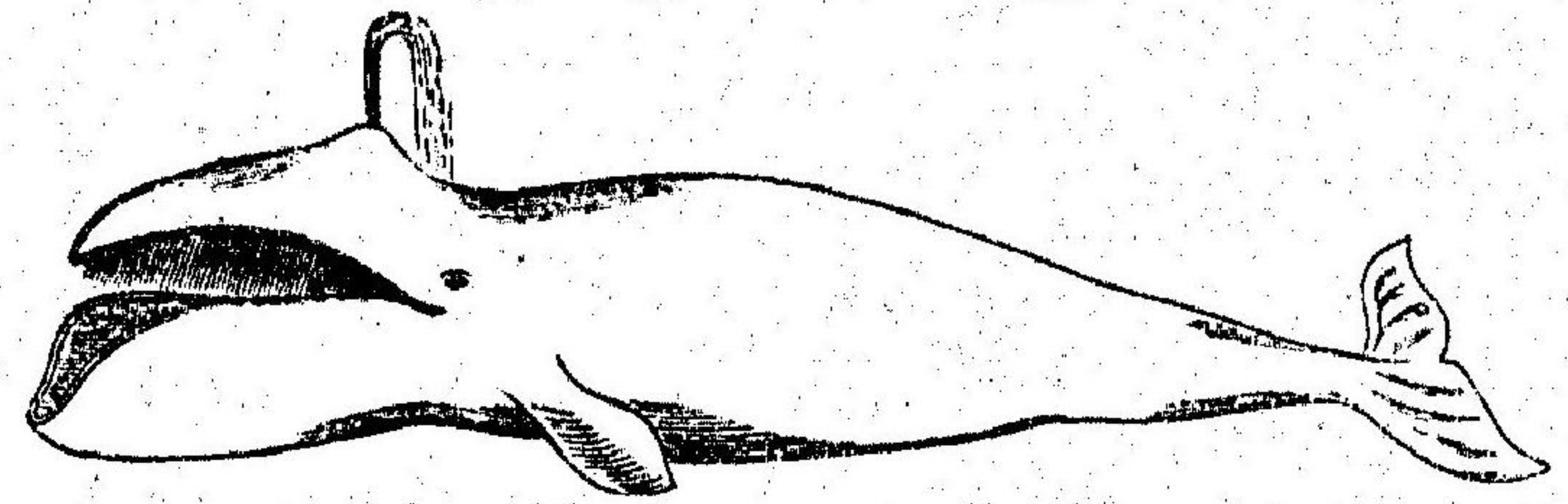
スルモノアリ齧齒類ノ如ク食物ヲ齧噬スルモノアリ跳躍ノ能ヲ有スルモノアリ攀ルモノアリ游クモノアリ故ニ其形狀齒式等モ種々アリ新和蘭及亞米利加ノ熱帶方等ニ産ス即チ左ノ如シ

かんがる(Macropus)ハ濠州及其四近ニ産シ前肢小ニシテ後肢及尾ハ極メテ大ナリ植物ヲ食ス○小動物ヲ食トナスモノニハ袋鼠(Didelphis)アリ小形ナレ其奪掠ヲ逞フス亞米利加ニ産ス○こもりねづみ(D. Lorisgera)ハ其一種ニシテ育袋不完全ナリ故ニ母体ハ其幼兒ノ尾ヲ其尾ニ卷絡セシメ負ヒ廻ルモノナリ

B. 有胎盤哺乳類 Placentalia, 胎盤ヲ有シ袋骨ヲ有セス

第三目、貧齒類(Edentata)齒ノ發育至テ不完全ニシテ門齒犬齒ヲ有スルモノ絶テナク往々臼齒ヲ有スルモノアレ其珐瑯質ヲ被ラス齒根ヲ欠如シ又々脱換スルコトナシ四肢共ニ指骨ト融着スル長キ鉤爪ヲ有

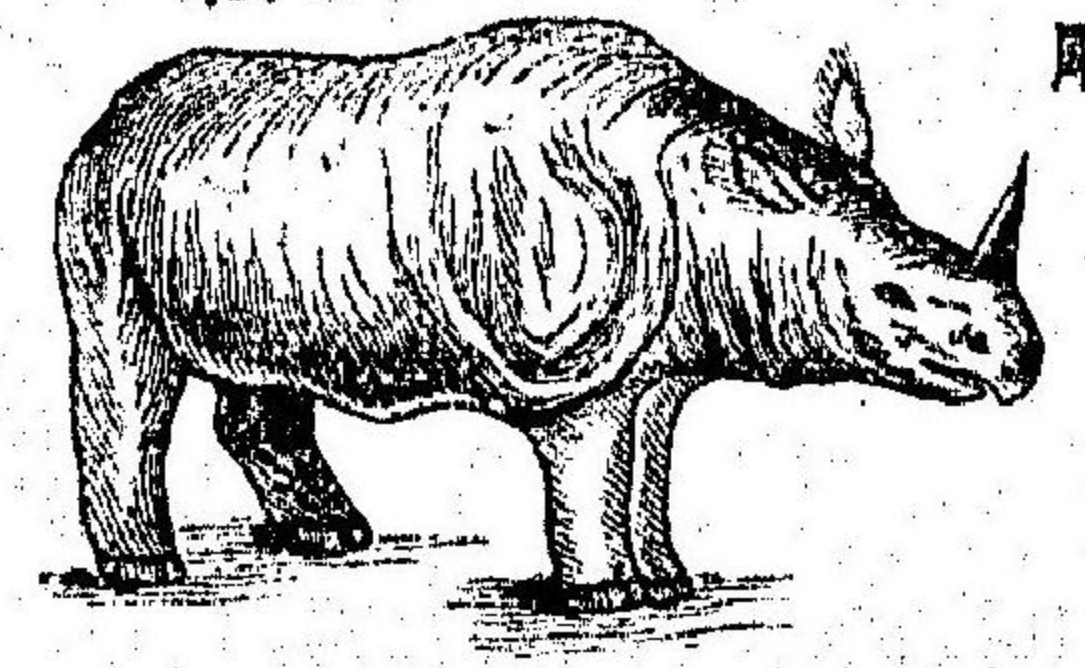
第七十九圖



せみくじら

ス体面ニハ毛ヲ有セスシテ鱗甲ヲ被ムルコトアリセ
 んざんかふノ如キ是ナリ凡テ熱帶地方ノ産ナリ
 西部亞米利加東印度及印度諸島ニ産スルマンネンカ鯨(Manis)
 南米ニ産スルありくひ(Myrmecophaga)樹懶(Bradypus)等此
 ニ屬スありくひハ細長ノ舌ヲ蟻群ニ投シテ之ヲ舐食
 シ樹懶ハ其鉤爪ヲ以テ能ク木ニ攀ヂ木葉ヲ食ト爲ス
 第四目游水類(Cetacea)ハ其体多クハ巨大ニシテ他ノ哺
 乳類ニ其比類ヲ見ル可ラサルモノ往々之アリ凡テ海
 洋中ニ棲息シ海草或ハ海中ノ小動物ヲ以テ食トナシ
 群棲ヲ好ム其異狀ノ生活常習ヨリ受ケタル影況少ナ
 カラス其体魚形ニシテ前肢ハ鱗狀ニ變シ後肢ハ欠如
 ス体ノ後端モ亦水平ナル魚尾狀ニ變シ外耳ヲ有セス

第九十八圖



鼻ハ頭上ニ開キテ噴水孔ヲ爲スモノ多シ眼ハ至テ小ナリ齒ヲ有セス
 櫛狀ノ角質板アリテ之ニ代フ然レモ咀嚼ノ用ヲナサス鯨ノ鬚是ナリ
 全皮膚面ニ毛ヲ生セス肺ヲ以テ呼吸スルカ故ニ時々頭ヲ水面上ニ出
 シテ空氣ヲ吸入スいるかくじらノ類ハ盡ク之ニ屬ス

海豚(Delphinus)ハ沿岸近クノ海ニ棲ミ小サキ齒ヲ有
 スせみくじら(Balæna)ハ日本近海ニ來游シ大ナル鯨
 ノ一ナリ○沖繩ノ海岸ニ産スル儒艮(Halicore)モ亦此
 ニ屬ス

第五目奇蹄類(Perissodactyla)ハ多クハ肥大ノ体軀ヲ有
 シ後肢ノ趾ハ必ズ奇數ニシテ中指最モ能ク發育シ
 其他ハ僅ニ痕跡ヲ止ルヲ往々之アリ指趾ノ末端ニハ蹄ト名クル廣キ
 爪ヲ被リ以テ地ヲ踏ム鎖骨ハ欠如ス往々角ヲ有スルヲアレモ對生ナ

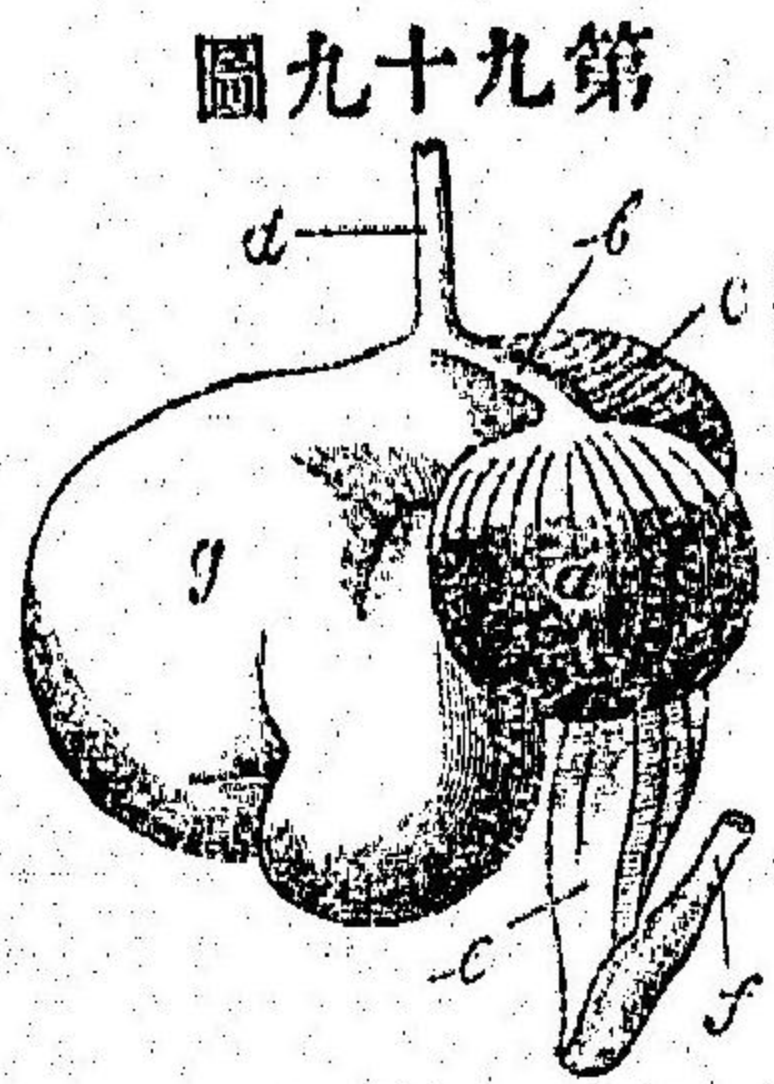
ラス齒ハ盡ク存スレモ皆植物ヲ以テ食トナスカ故ニ犬門ノ兩齒ハ極メテ小ニシテ稀ニハ亡失スルコトモアリ

○犀 (Rhinocerotus) ハ東印度及支那等ニ産シ前肢ニ四蹄アリ後肢ニ三蹄アリ

○馬 (Equus caballus, L.) ハ四肢共ニ一蹄ナレモ其祖先ノ五指趾ヲ有セシ

「ハ化石馬類ヲ以テ證シ得ベシ現世ノ馬類カ有スル指趾ハ其第三ノ指趾ニ相當スルモノナリ

第六目、偶蹄類 (Artiodactyla) 鎖骨ヲ有セサルコト蹄ヲ被ルモ指趾ノ末端ヲ以テ地ヲ踏ムコトハ奇蹄類ニ等シト雖モ四肢共ニ常ニ四蹄ヲ有シ第三第四ノ指趾能ク發育スルコトハ其異ナル所ナリ角ハ常ニ對生ニシテ角質ノ鞘ヲ有ス野猪ノ如キ雜食スルモノト牛ノ如ク植物ノミヲ食スルモノトアリ第二ノ場合ニ在リテハ上顎ノ門齒犬齒ハ亡失シ多クハ



反芻胃ノ圖 (a) 瘤胃 (b) 蜂巢胃 (c) 重瓣胃 (d) 重瓣胃 (e) 皺胃

反芻ス反芻スルモノニ在リテハ其胃四室ヨリ成ル瘤胃、蜂巢胃、重瓣胃、皺胃是ナリ蓋シ粗末ナル咀嚼ヲ受ケタル食物ハ先ツ (a) ニ入り長クシテ (b) ニ移リ再ヒ口腔ニ來リ更ニ咀嚼ヲ受ケ (c) ニ入り遂ニ (d) ヲ經テ腸ニ下ルモノナリ之レ反芻ノ名アル所以ナリ野猪 (Sus) 駱駝 (Camelus) 麒麟

(Camelopardalis) 鹿 (Cervus) 牛 (Bos) 山羊 (Capra) 等此ニ屬ス

第七目、長鼻類 (Proboscidea) 今世生存スルモノハ象類ノミ其鼻非常ニ延長シテ所謂象鼻ヲナス象鼻ハ只鼻神ヲ含ラシムルノミナラス觸感握取ノ能ヲ兼テ攻撃防禦ノ用ヲナス又タ水ノ如キ流動体ハ一旦鼻ヲ以テ之ヲ啜リ而後口ニ移ス犬齒及下顎ノ門齒ハ全ク亡失シ上顎一對ノ門齒獨リ大ニ延長シ所謂象牙ヲ爲ス臼齒ハ極メテ大ニシテ其咀嚼面

ニ一列ノ珐瑯質隆起ノ線ヲ有シ其食トナル植物質ヲ摩碎スル屈強ノ具ナリ四肢共ニ五趾ヲ以テ地ヲ踏ミ印度象(Elphas indica Blumb)亞弗利加象(E. africanus Blumb)ノ二種アルノミ

第八目、齧齒類(Rodenta)ハ其形凡テ小ナリト雖モ大齒ヲ有セス上顎下顎共ニ長キ門齒ヲ有スルコト象類ニ似タリ門齒ハ前面ニノミ珐瑯質ヲ有

齧齒類ノ頭骨

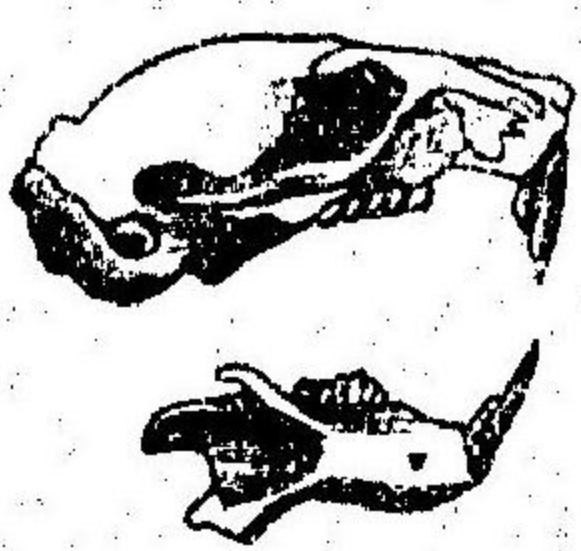
シ銳鑿ノ狀ヲナシ以テ齧噬ヲ逞フス臼齒ハ發育極メ

テ善ク全蹠掌ヲ以テ地ヲ踏ミ前肢ハ握取ノ能ヲ兼ヌ

植物ヲ以テ食トス稀ニハ雜食スルモノアリ兔(Lepus)

鼠(Mus doumanas; Pall)栗鼠(Sciurus)等之ニ屬ス

第百圖



第九目、食肉類(Carnivora)多クハ奪掠ヲ事トシ肉食ヲ爲スカ故ニ齒ハ凡テ大ニ發育シ特ニ犬齒ハ長大ニシテ銳尖ナリ臼齒モ其上緣銳鑿ノ狀ヲナス五感銳敏ニシテ四肢逞シク指趾ノ末端ハ鈎爪ヲ以テ終ル濠洲

ヲ除キ地上至ル所ニ棲息ス具ニ冬眠スルニアラサレモ冬日ハ穴中ニ蟄居スルモノ多シ熊(Ursus japonicus; Schley) 鼬(Mustela itatsi; Tem.) 海獺(Enhydris) 犬(Canis familiaris; L.) 狼(Canis sp.) 狐(Canis sp.) 虎(Felis tigris, L.) 獅子(F. leo, L.) 猫(F. domestica, L.) 等此ニ屬ス

第十目、鱗脚類(Pinnipedia)ハあしか、あざらしノ類ヲ含ム其体異狀ニ變形シ外耳ヲ有セス皮膚ハ全面短クシテ密生セル絨毛ヲ被ル四脚短クシテ稍々鱗狀ヲ爲シ指趾共ニ五數ヲ有スレモ其間ニ蹠ヲ張り水中ノ移動ニノミ適シ陸行ハ爲ス可カラズ温帶及寒國ノ海ニ棲息シ魚蟹介類ヲ以テ食トスレモ齒列ノ如キニ至リテハ大ニ食肉類ニ近縁アリ能ク岩礁或ハ海岸ニ上リ或ハ幼兒ニ哺乳セシメ或ハ睡眠シ或ハ日光ニ浴シテ暖ヲ取ル其性優柔馴養セラル、モノアリ此類ニ屬スルモノニシテ本邦ニ普通ナルモノハ海驢(Otaria)海豹(Phoca)等ナリ

第十一目、食蟲類 (Insectivora) もぐら、ばりねずみ等小形ノ動物ヲ含ミ概シテ齧齒動物ニ類スト雖モ蠕虫昆虫乃至爬虫類ヲ食トシ三種ノ齒ヲ有スレモ門齒長大ナラス臼齒ニ尖角アリ四脚短クシテ全蟻地ニ觸ル、濠洲及南米ノ外全地球ニ棲息ス本邦ノ産ニシテ此ニ屬スルモノニハ鼯 (Talpa) ヒヤカムねづみ (Crocidura) 鼯 (Sorex) 等ナリ蝟 (Erinaceus) ハ中央亞細亞及歐羅巴ニ産シ毛ハ盡ク鋭キ刺毛ニ變セリ

第十二目、翼手類 (Chiroptera) ハ蝙蝠類ヲ含ム哺乳類絶類ノ動物ニシテ其特徴トスル所ハ前肢後肢ヨリモ非常ニ長ク又拇指ノミハ短クシテ鉤爪ヲ有スレモ其他ノ四指ハ細長ニシテ之ヲ有セス指間ヨリ肩及後脚ニ亘リテ飛膜ヲ張リ以テ飛翔移動ノ具ト爲スニ在リ諸器官骨骼ノ構成極メテ高級ナリ多クハ昆虫ヲ餌トスレモ又菓實ヲ食フコトアリ晝間ハ暗所ニ匿伏シテ黄昏ニ至リテ始メテ出ツ此ニ屬スル本邦産ノモ

ノハ通常ノあぶらむし (Vesperugo) ちくがしら (Rhinolophus) 小笠原島ノ寒號虫 (Pteropus) 等はナリ寒號虫ハ其兩翅ヲ張ルトキハ宛モ蝙蝠傘ノ如ク長サ尺餘ニ亘ルモノアリ

第十三目、擬猴類 (Prosimii) 一方ニ於テハ肉食類ニ類スレモ又一方ニ於テハ猴類ニ近似シ四肢共ニ手狀ニ變シ握稜ノ能ヲ有シニツノ趾爪ヲ除クノ外扁爪ヲ有ス然レモ又之ト異ナル所ハ頭形ノ犬ニ似タル顔面ニ毛ヲ生スル耳殼及眼ノ大ナル上顎中央列ノ門齒ノ間ニ間隙アルヲ等ニ在リ亞細亞及亞弗利加ノ熱帶地ノ産ニシテ樹上ニ棲メル夜獸ナリ昆虫及小鳥類爬虫類ヲ食トナス猫猴 (Galopithecus) 狐猴 (Lemur) あい (Chironys) 懶猴 (Nycticebus) 等之ニ屬ス凡テ亞弗利加及其四近ノ島嶼ニ産ス

第十四目、靈長類 (Primates) ハ四肢握稜ノ能ヲ有スルハ前述ノ動物ニ異

ナル所ナシト雖凡指趾共ニ凡テ扁瓜ヲ有シ齒列甚タ人類ニ似テ顔面ニ毛ヲ生セス殊ニ大猩々ノ如キニ至リテハ身長モ五六尺ニ達ニ體貌殆ント下等ノ人種ト撰フ所ナシ然レモ頸骨多少突出シ全身ニ毛ヲ被リ前肢概シテ後肢ヨリモ長シ其性枯猾怯懦ニシテ合集生活ヲ好ミ能ク木ヲ攀テ鳥卵菓實蔬菜下等ノ動物ヲ食ヒ平居深山茂林ニ棲息シ往々隊ヲ成シテ村里ニ出ツルコトアリ亞細亞亞弗利加亞米利加ノ熱帶中及歐羅巴ニ在リテハヒふるたるニ産ス下等ヨリ上等種類ノ間ニハ數多ノ階段アリテ今ニ二三ヲ舉グ

本邦ノ編猴(Macacus)亞弗利加ノをさむる(Cercopithecus)黑猩々(Simia)西亞弗利加ノ大猩々(Gorilla)東印度諸島ノ猩々(Pithecus)猿猴(Hylobates)等はナリ

動物學新書終

明治二十五年十二月五日印刷
明治二十五年十二月六日出版

(動物學新書與付)

編纂者 東京府士族 八田三郎
東京市本郷駒込區曙町三番地

發行者 東京府士族 小野英之助
北豐島郡南千住町元地
方橋場町千三百八拾番地

發兌元 富山房書店
東京市神田區裏神保町九番地

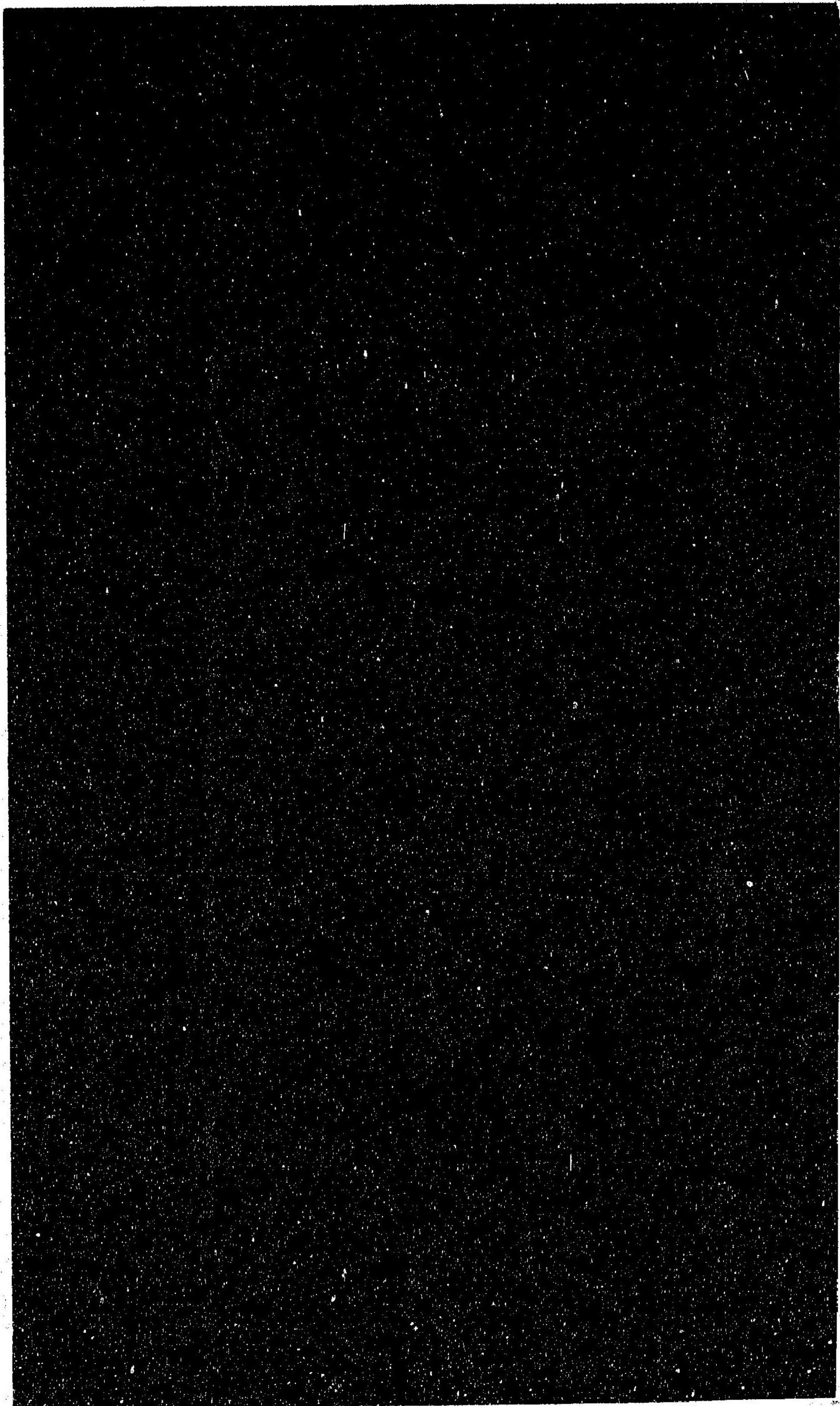
印刷者 島田用定
同京橋區瀧山町七番地
瀨關舎

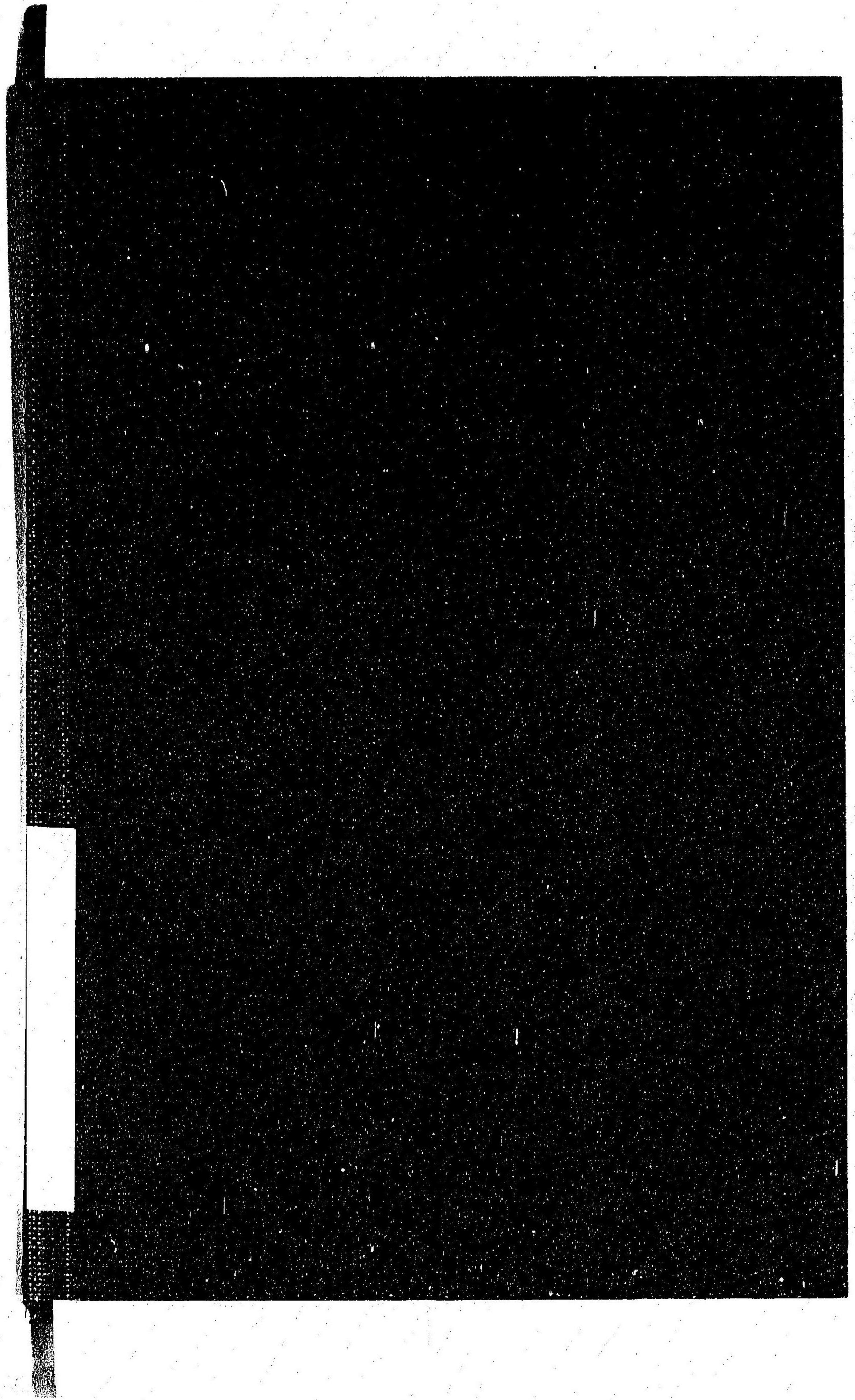




東 京
富 山 房 書 店







24

507

動物学新書

八田 三郎

国立国会図書館

057573-000-7

特24-507

動物学新書

八田 三郎 / 編

M25

CAR-0159



24

507

動物学新書

八田 三郎

国立国会図書館